

石巻の都市基盤復興に対する市民アンケート結果

目的 市民のまちづくり復興への意識調査

期間 5月1日～5月15日 2週間

聴取方法 リ災者を対象とし、リ災証明や住宅の応急修理の発行窓口（市役所）や避難所、仮設住宅、市内の大手スーパーなどで実施。窓口へのアンケート配置のほか、臨時職員等（約30名）が市民に口頭で依頼するなど積極的な取得を実施。

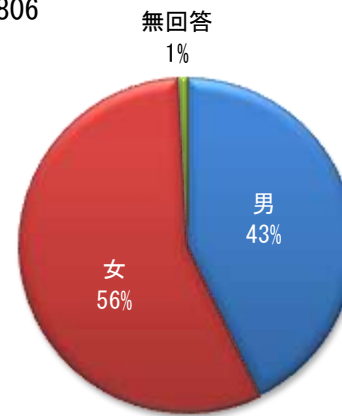
収集数 9,806件（5/22集計）
 内訳：石巻 N=8,396 河北 N=168 雄勝 N=273
 北上 N=368 牡鹿 N=418 河南・桃生 N=126
 無記入 N=57

聴取内容 ①性別、②年齢区分、③被災前職業、④被災前住居地区、⑤被災前の住居区分、⑥住居の被害状況、⑦今後の住まいの希望、⑧今後の住まいの希望場所、⑨必要だと思う防災体制、⑩今後のまちに望むもの、⑪自由意見

回答結果【石巻市全体】

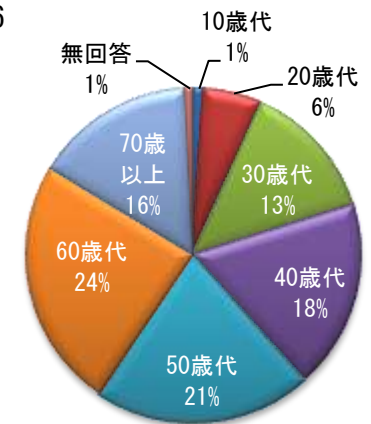
①性別

N=9806



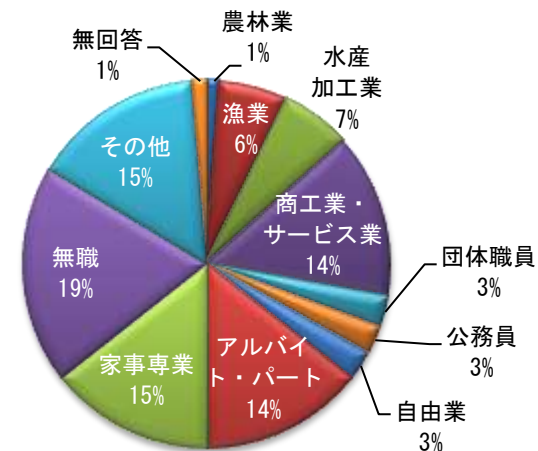
②年齢構成

N=9806



③被災前職業

N=9806

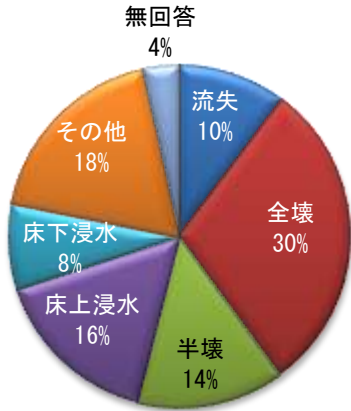


（その他）
 医療関係、建設業、
 建築業、運送業、
 食品加工業、
 電気工事業、
 製造業、看護師、
 船員、造船関係、
 福祉関係、介護関係、
 学生、理美容系、
 IT関係、印刷業、
 アパート経営 など

回答結果【石巻市全体】

⑥住居の被害状況

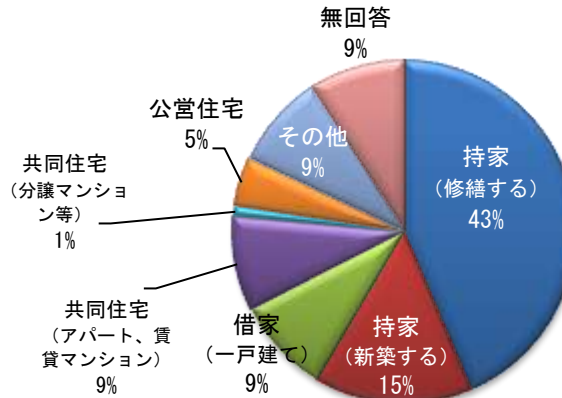
N=9806



(その他)
屋根瓦破損、屋外・屋内壁等破損、家財倒壊、ブロック塀倒壊、床・扉の軋み、地盤沈下、被害なし など

⑦今後の住まいの希望

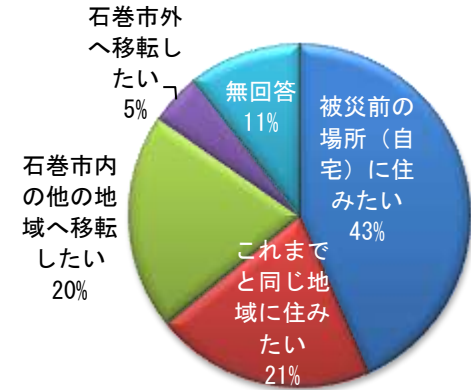
N=9806



(その他)
未定、修繕費用による、中古住宅、仮設住宅に申請中、親・子供・親類宅に同居、老人施設への入居、都市計画とか決まらなければ希望が持てない、家賃が安ければアパート、被害がないのでそのまま住む など

⑧今後の住まいの場所

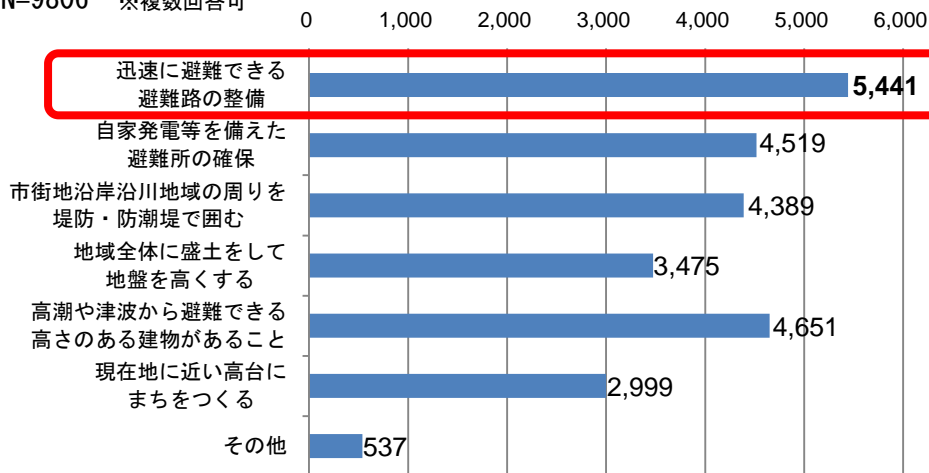
N=9806



避難路の整備を選択した方が最多

⑨必要だと思う防災体制は

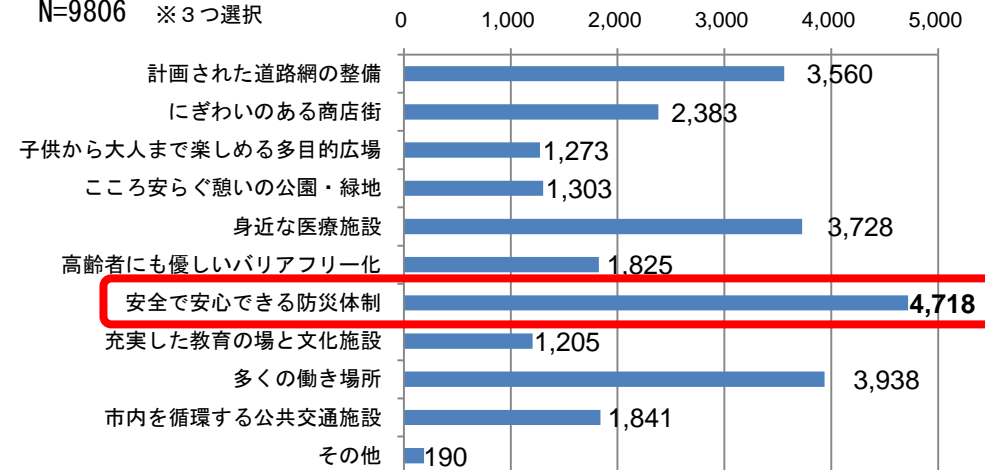
N=9806 ※複数回答可



安全で安心できる防災体制を選択した方が最多

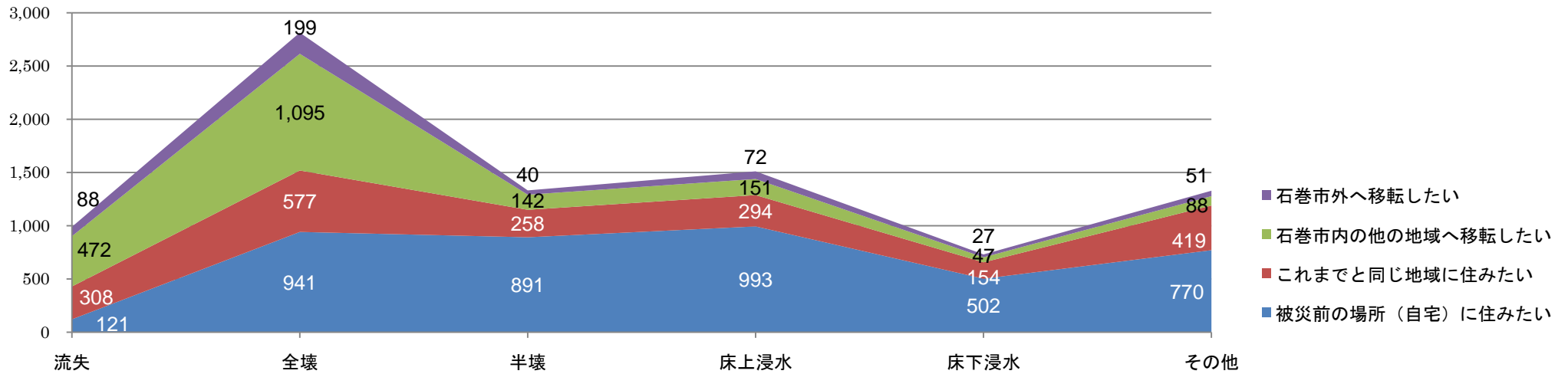
⑩今後のまちに望むもの

N=9806 ※3つ選択



今後の住まい方（被害状況別）【石巻市全体】

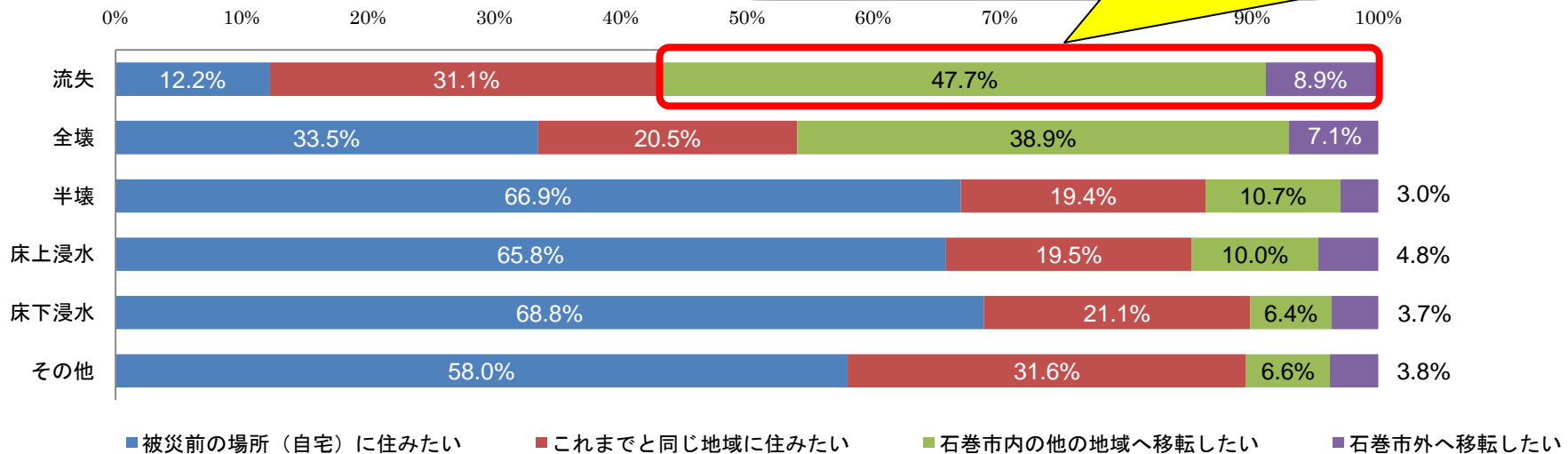
今後の住まい方（被害状況別）※件数 N=8700



今後の住まい方（被害状況別）※割合 N=8700

流失した方の5割以上が他の地域を希望

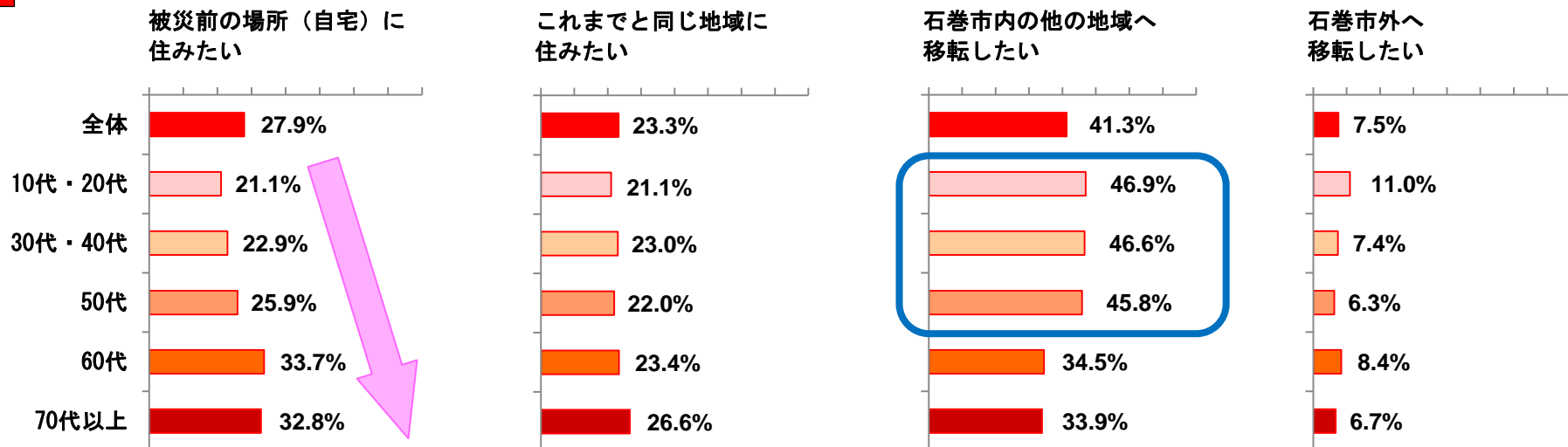
（その他）
屋根瓦破損、屋外・屋内壁等破損、
家財倒壊、ブロック塀倒壊、
床・扉の軋み、地盤沈下、被害なし
など



今後の住まい方（被害状況別、年齢階層別）【石巻市全体】

流失・全壊

N=7580

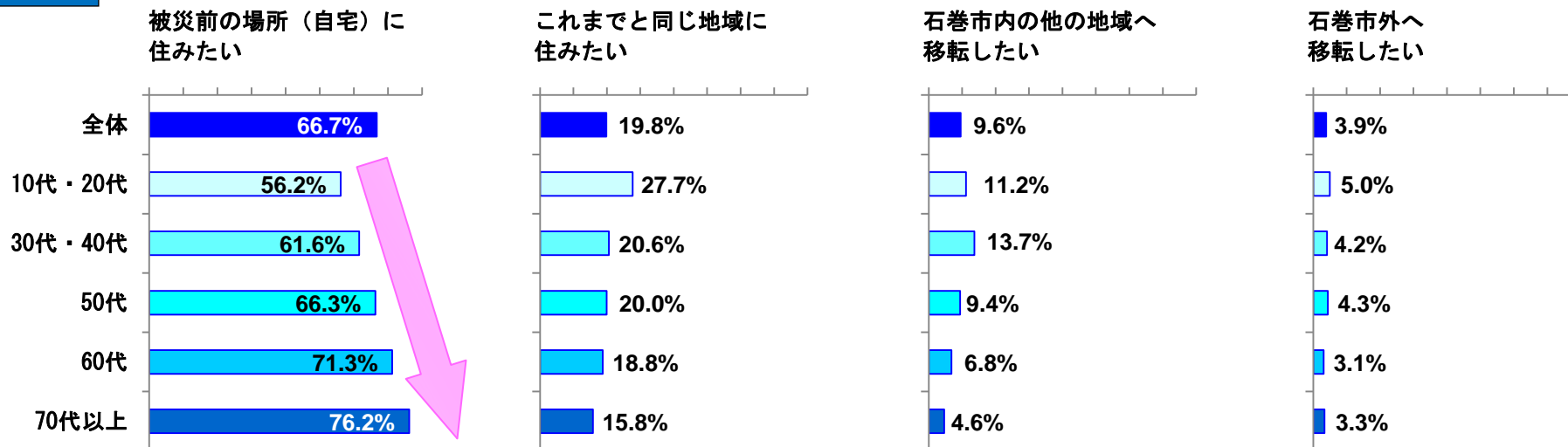


年齢を経るほど
自宅に住みたいという傾向

若い世代ほど
他の地域への移転を希望

半壊・床上・床下

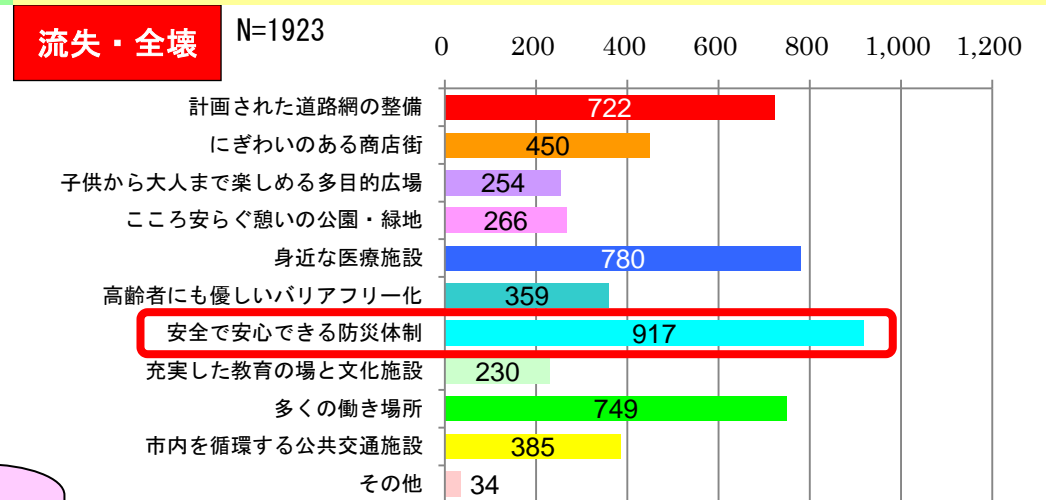
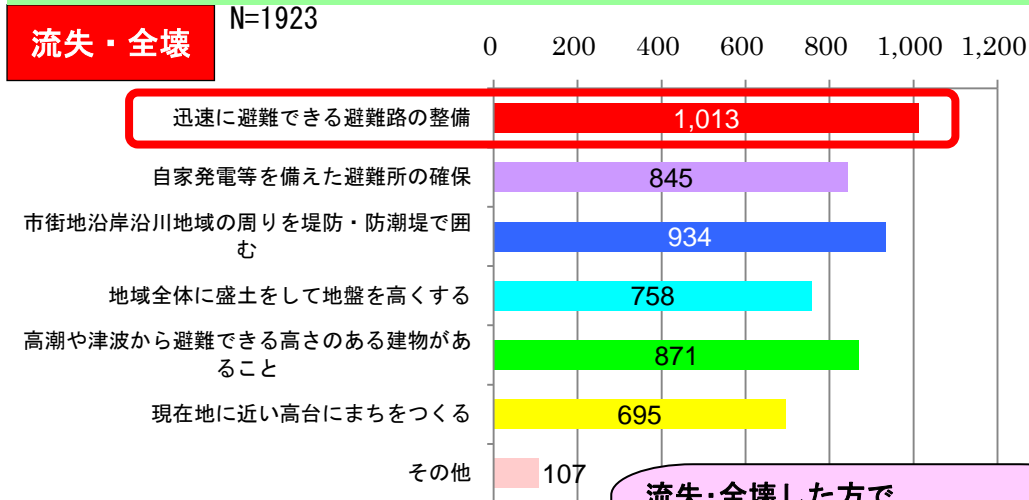
N=7106



今後も同じ場所、地域に住みたい方の意向（被害状況別）【石巻市全体】

必要だと思う防災体制

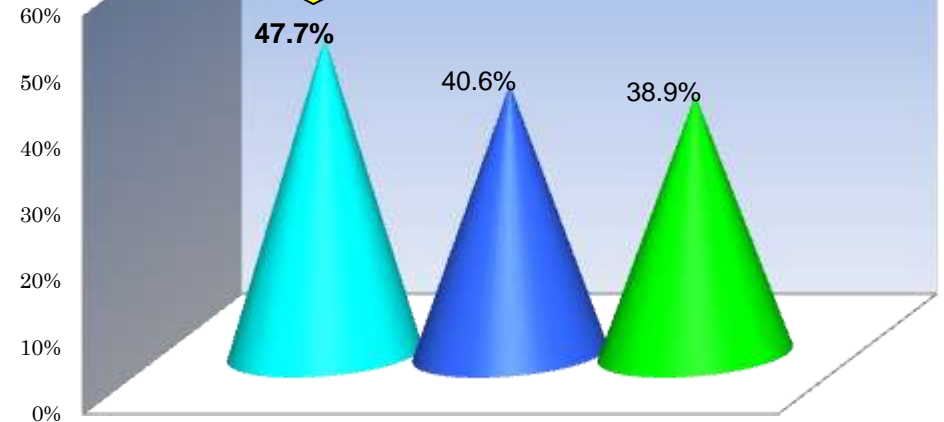
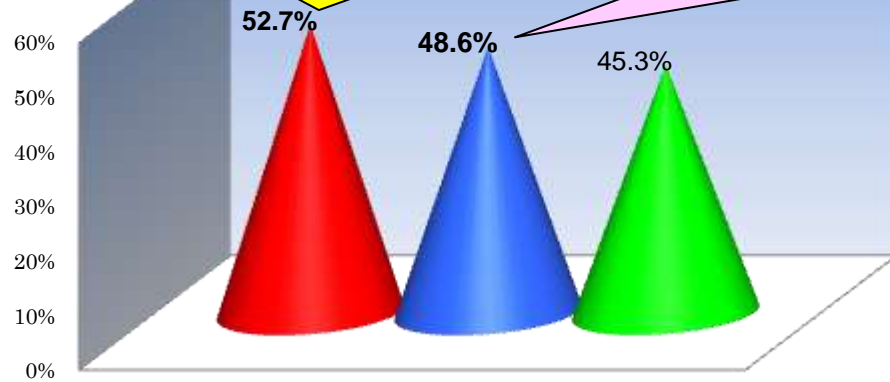
今後のまちに望むもの



「避難路の整備」が最多

流失・全壊した方で
今後も同じ場所、同じ地域に
住みたいと答えた方の約5割が
「堤防・防潮堤の整備」を選択

「安全で安心できる防災体制」が最多



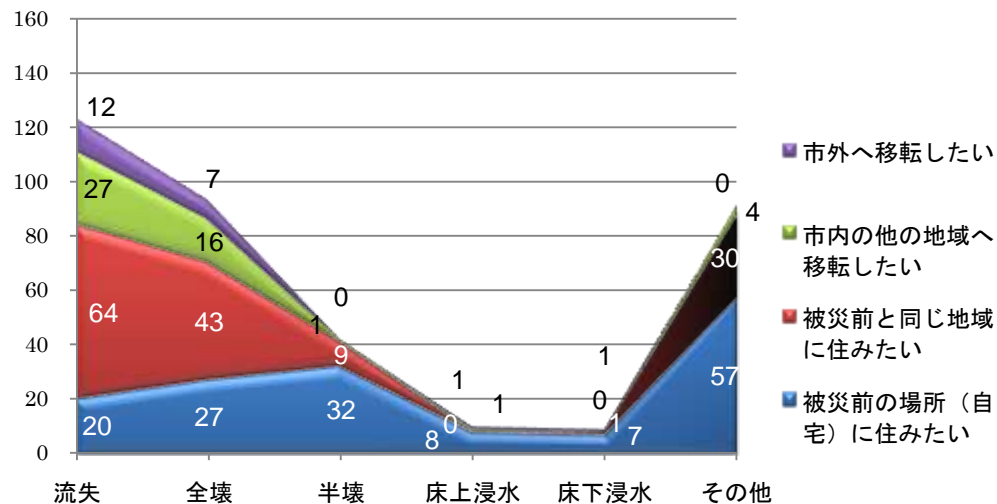
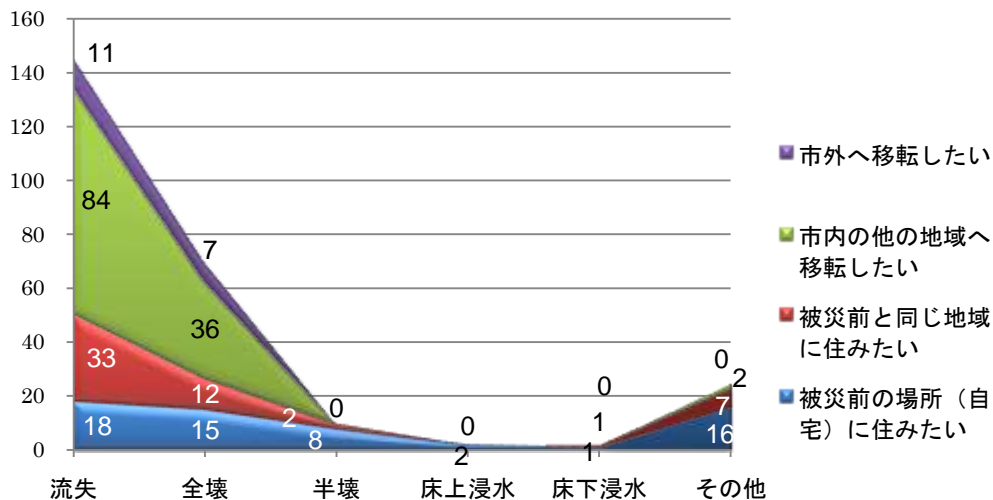
- 迅速に避難できる避難路の整備
- 市街地沿岸沿川地域の周りを堤防・防潮堤で囲む
- 高潮や津波から避難できる高さのある建物があること

- 安全で安心できる防災体制
- 身近な医療施設
- 多くの働き場所

地域別の特徴（抜粋）

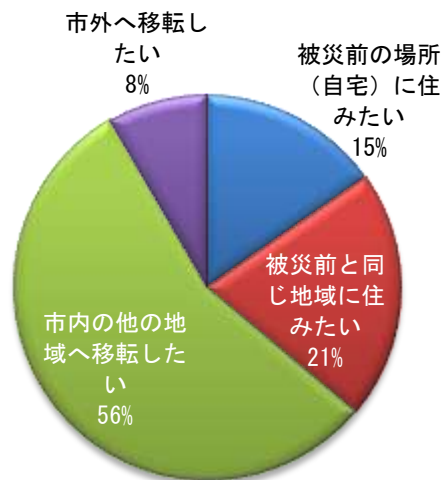
【雄勝地域】

【牡鹿地域】

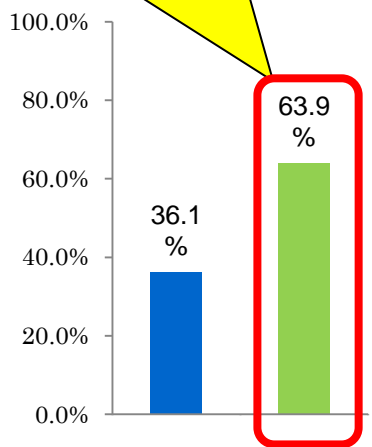


流失・全壊

N=216



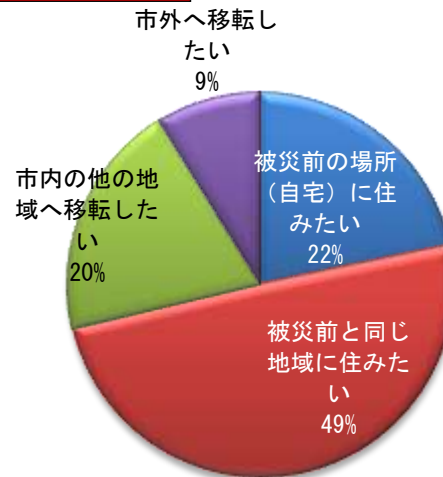
6割を超える方が
他の地域への移転を希望



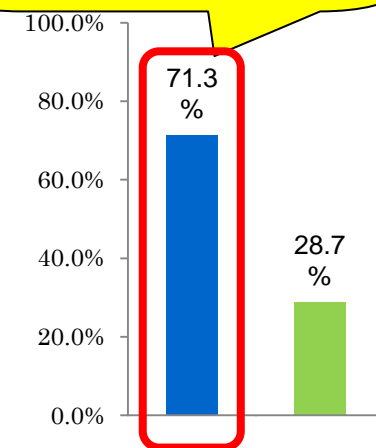
■ 同じ場所・地域に ■ 他の地域へ

流失・全壊

N=216



7割を超える方が
同じ場所、地域を希望



■ 同じ場所・地域に ■ 他の地域へ